

2013.02.11-2

どんがめ3人が行く八代市



万葉里公園

平成21年3月
八代市長 坂田孝志

国指定名勝 不知火及び水島 (平成21年2月12日指定)

神秘の火「不知火」

八代海(不知火海)北部の東岸域には大規模な干潟が発達し、旧暦8月1日(八朔)の夜間、海上に不知火と呼ばれる不思議な火が現れることで知られています。不知火は、漁火や対岸(天草)方面の街の明かりなどの光源が、日中に暖められた干潟上の「暖気層」と、夜間の放射冷却による「冷気層」から成る複雑な空気層が異常屈折して起きる蜃気楼現象の一種とされています。不知火の発生要因の一つに挙げられる広大な干潟のうち、八代市鏡町沖合の



国指定範囲(赤枠内)

海域約150ヘクタールが不知火現象発生の象徴的領域です。

不知火の観望地点としては、明治時代初めまでは宇土半島の基部に位置する「龍燈場」が知られていましたが、



八代海に広がる干潟(鏡町沖合)

その後の干拓造成などに伴って、不知火発生海域が西へ移ったことにより、明治以降は永尾劔神社(宇城市)の境内が広く知られるようになりました。

『日本書紀』には景行天皇の巡幸に際して湧水を献上したとの故事が記される「水島」とともに、夜間航行時に方角を見失った天皇が乗られた舟を陸地へと導いたとされる「不知火」についても記されています。万葉史跡でもある水島、不知火現象発生の象徴的領域(鏡町沖合)と、その主要な観望地点である永尾劔神社(宇城市)の3か所は、八代海における天皇巡幸故事にまつわる独特の自然現象を伴う景勝地であり、過去多くの人々の注目を集め鑑賞対象としての芸術的評価も定着していることから、自然名勝として国の名勝に指定されました。

指定範囲(所在地)

水島、八代海(八代市鏡町沖合)、永尾劔神社(宇城市)

※指定区域内で現状を変更する行為を行う場合は、文化財保護法に基づく文化庁の許可が必要です。

平成21年6月 八代市教育委員会



不知火現象(永尾劔神社から撮影)

万葉史跡「水島」

『日本書紀』には水島の名前の起こりとして、景行天皇が水島で休憩して食事をされようとした際、小左という人物が島から湧き出した水を献上したと記されています。また、『万葉集』には筑紫に遣わされた長田王が詠んだ、水島に関する二首の歌が収められています。

『万葉集』巻第三 二四五、二四六

【読み下し文】 聞きしごと まこと貴く 奇しくも
神さびをるか これの水島
葦北の 野坂の浦ゆ 船出して
水島に行かむ 波立つなゆめ

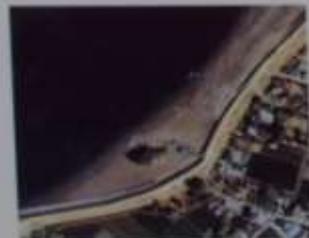
【意 訳】 伝承に聞いたとおり、まことに尊く、不思議なほど神々しい様子である、この水島は、
葦北の野坂の浦から出船し、水島に行こう。
波よ、どうか立たないでくれ。

その後、江戸時代末の天保14年(1843)、水島新地が

築造される際、水島は干拓地に取り込まれる計画でしたが、万葉の古蹟が失われるのを憂慮した国学者和田巖足の建議により、計画が変更され島として残されたことは、文化財保護の先駆けと言えます。

また、江戸時代の『蛤かき図』(八代市立博物館蔵)を見ると、マツの木が生い茂げる水島が描かれています。島の周辺には小舟が見えることから、漁の折に休憩をとっていたことがうかがわれます。また、水島の麓に小さな建物が描かれていますが、江戸時代の記録には元禄年間に松井直之(三代目城主、1638~1692)が「水島御茶屋」を建てたとあることから、この建物は松井家の御茶屋であった可能性があります。

水島は全国に誇る貴重な景勝地ですが、近年大雨や台風の影響や波浪浸食により島の崩落が進んだことから、八代市では熊本県の補助を受けて平成18年度から3ヶ年をかけて応急の崩落防止保存処理工事を実施しました。



湾曲した干拓の線形



『蛤かき図』に描かれた水島



応急保存処理前の水島



応急保存処理後の水島

国指定名勝 **不知火及び水島** (平成21年2月12日指定)

位置図

熊本市内位置図



八代港(不知火海)

0 1,000 2,000m

水島

熊本市



不知火神社からみた不知火海



不知火神社からみた不知火夜景



不知火海に広がる巨大な干潟



水島の夕景

この設置費用の一部は、八代湧々義同窓会様の寄付によります。
八代市教育委員会 平成22年3月

水島
Mizushima



不知火現象発生地の
景観的な海域
Shirasumi Phenomena and
the sea area where it occurs



不知火神社
Einoso Tsurugi Shrine



不知火及び水島について
Shirasumi and Mizushima



音声ガイド
チャンネル



- 日本語
- ENGLISH
- 中文
- 한국어

1 ● 言語選択
select language
语言的选择
언어 선택

2 ● x20
● ハンドルを20回まわす
turn the handle clockwise for 20 times
● 大約資料 20 次繰り返し
● 總時間 20 分 過ぎない

3 ●
● ボタンを押す
push the button
按钮按
버튼을 누른다

4 ●
● ランプが点滅
the light blinks
● 閃光灯同様
● 램프가 깜박인다

5 ●
● 音声ガイド
the voice guidance starts playing
● 音声ガイ
● 음성 가이드

水島



水島



水島



24時間
営業

本場手打ち
さめぎ
うどん

さぬき本店



さぬき本店



八代市さめき本店



山頂火の書



安達君

2013/02/11
八代市さめき本店



吉岡君



松井神社



八代市指定史跡

≡ 松井神社の茶庭

昭和40年4月12日指定

元和5年(1619)、奥島城(当時の八代城)が地震によって崩壊したため、藩主加藤忠広は幕府の特別の許しを得て、城代加藤正方に命じ松江・徳川の地に新たに城を築かせました。3年後に完成したのが現在の八代城です。

ここ北の丸は加藤正方とその家族の屋敷、そして枯山水の庭園が造られた場所です。加藤家改易後は細川三斎がここに書院とお茶室を築き庭園の整備を進めました。さらに松井家がこれを継承し、今日に至っています。庭園は城壁の土居を利用した低い築山と、泉水に流く心字池からなります。書院から築山の上に龍峰連山が遠望できるようにしてあり、全体的に簡素ですっきりした、わび茶にふさわしい庭園といえます。

名木臥龍梅は、三斎自らが「八代から百花の魁となる人村出でよ」と念じて植えたといわれ、昭和57年に県指定天然記念物となっています。松井神社は、松井家再興の祖康之と、干拓事業で八代地方の発展の基礎を築いた典長を祭神として、明治14年に当地に創建されたものです。

平成11年3月 八代市教育委員会

市指定史跡で現状変更等の行為を行う場合は、八代市文化財保護条例により事前に許可が必要です。



ガリョウバイ 臥龍梅と臥龍梅碑

この辺りはもともと八代城の北の丸だったところで、寛永17年(1640)7月、細川三斎(忠興、1563~1646)が数寄屋(お茶室)を築き、庭園整備を進めました。

臥龍梅は、三斎が自ら植えたと伝えられ、老いてなお気品あふれる花を咲かせ続けるその姿は、晩年をここで過ごした三斎の姿をほうふつとさせます。

傍らにある臥龍梅碑は、明治17年3月、松井家12代当主松井敏之が建てたもので、碑文は鏡町の教育者名和重山によります。

百花に先駆けて咲く梅花になぞらえ、戦国乱世における三斎の活躍は人中の魁であったこと、三斎の後、八代城に入った松井興長、その父康之の武勇も魁であったことが称えられ、その道徳を伝えたいとの建立趣旨とともに、先人に恥じない立派な人物であるようにとの後世の人々への戒めが記されています。

何物驪龍、化作老梅、鎖珠粲爛、花光争開、
嗟此厥初、先公所栽、人中之傑、花中之魁、
相傳相承、世襲芳來。



熊本県指定天然記念物「臥龍梅」(昭和57年8月28日指定)

(何物が驪龍、化して老梅となる。珠をふくみ燦爛、花光争いて開く。
ああこれ、そのはじめ、先公の栽ゆるところ。人中の傑、花中の魁、
あい伝えあい承け、世々芳來をたたかわす。)

老木ですので、枝や根を傷めないよう見守ってください。

平成24年3月

八代市教育委員会



松井神社の臥竜梅

歓迎

城下町「やつしろ」の

雛祭り

松浜軒庭園



しょう ひん けん 松 濱 軒

松濱軒は、元禄元年（1688）、八代城主三代松井直之が、母の崇芳院尼のために建立した茶庭です。当時は、松波越しに八代海・宇土半島、さらに遙か雲仙を望む雄大な眺望の庭園で、松濱軒の名もこれに由来しています。

伸びやかな池には配石がみられ、西寄りの赤女池周辺に石組みが施された築山を座敷から眺める、奥行きのある景色を形成しています。

また、南寄りには茶庭に繋がる池に八ツ橋が架けられ、絵画の画題を想起させます。池の東よりの中心となる中島の一部には、桂離宮天橋立の景色に似た州浜部が見事に造形されていて、大名庭園として変化に富んだ風情を構成しており、当時の形状を良く今に伝えています。

このように、雄大な海と遙かな山岳の景色を取り込んだ意匠を持つ、江戸時代初期の大名庭園として良好に保存されていて貴重であり、平成 14 年に国の名勝に指定されました。

Shohinken Garden

Shohinken is a tea ceremony garden built by Naoyuki Matsui, the 3rd lord of Yatsushiro Castle, for his mother, Buddhist Nun Shohin-ni, in 1688. At the time, the Garden had a splendid view of the Yatsushiro Sea, Uto Peninsula and faraway Mt. Unzen beyond the Garden's pine trees. The name of "Shohin" (literally, "pine trees and a beach") comes from this.

The Garden has a tea house from where visitors can see a large pond with beautifully arranged stones at the front and a miniature artificial hill with rocks near Akame Pond to the west, adding a sense of depth to the garden.

To the south is a picturesque bridge named Yatsushashi over a pond leading to the island. In the eastern center of the front pond is an island creating scenery associated with Amanohashidate in the famous Katsura Detached Palace. With a variety of different landscapes, the Garden has characteristics of the gardens of feudal lords in the early Edo period (1603-1668). The well-preserved, precious Garden was designated as a place of scenic beauty of Japan in 2002.

“쇼힌켄”

“쇼힌켄”은 1688년 “아쓰시로” 성주 삼대 “나요유키”가 어머니인 “쇼후인”을 위해서 건립한 다실과 정원입니다. 당시에는 스나부리과도를 넘어 “아쓰시로”해, “우토”반도 그리고 아득히 “운젠”이 바다를 보이는 웅대한 조망의 정원이며 “쇼힌켄”의 이름도 여기서 유래하고 있습니다.

넓은 연못에는 세차런 돌이 보이고 서쪽에 적녀지(赤女池) 주변에 돌이 쌓여진 산을 “아사키(雲仙일)”에서 바라보면 깊이가 있는 경치를 형성하고 있습니다.

또 남쪽에는 다실과 정원이 연결되는 한곳에 “아쓰시라” 다리가 놓여 있으며 그림의 제목을 상기시킵니다. 연못 동쪽의 중심이 되는 나카지마(작은 섬)의 일부에는 “야부리” 이궁 “아미노하시다테”의 경치를 담은 사쿠부(御料所)가 통솔하여 조성되어 있어서 영주와 정원으로의 변화가 많은 풍경을 구성하고 있고 당시의 풍상을 지금도 잘 전하고 있습니다.

이렇게 웅대한 바다와 서쪽엔 산악의 경치를 받아들인 디자인의 “에도” 시대 초기의 영주정원으로서 앞으로 계속 보존되어 있으며 2002년에는 나라의 국경원 명승지로 지정되었습니다.

松濱軒

松濱軒是元禄元年(1688年)由第三代八代城主松井直之為母崇芳院尼而建造的一座茶室庭院。當時因為從庭院就能俯瞰松林越嶺八代海和宇土半島。又能夠遠望雲仙，因此名稱松濱軒。

在那裏的北邊中庭設置有奇石的奇石，西側的赤女池邊山石圍成的築山，可以從茶室眺望，景色頗有氣派。在南側連結茶庭的水塘上建有一座八橋，引發人們作畫的意欲。水塘東側的中島是庭院的中心，島上仿造桂離宮天橋立的景色，精緻地再現了伸入大海的沙洲之景。至今向人們顯示著它作為大名庭院所擁有的豐富多變的風情。松濱軒取象於雄壯的大海與遙遠的山岳，独具匠心，作為江戸初期的大名庭園，保存狀態也非常良好，難能可貴，在平成14年它被指定為國家名勝。

松濱軒

松濱軒是元禄元年(1688年)由第三代八代城主松井直之為母崇芳院尼而建造的一座茶室庭院。當時因為從庭院就能俯瞰松林越嶺八代海和宇土半島。又能夠遠望雲仙，因此名稱松濱軒。

在那裏的北邊中庭設置有奇异的奇石，西側的赤女池邊山石圍成的築山，可以從茶室眺望，景色頗有氣派。在南側連結茶庭的水塘上建有一座八橋，引發人們作畫的意欲。水塘東側的中島是庭院的中心，島上仿造桂離宮天橋立的景色，精緻地再現了伸入大海的沙洲之景。至今向人們顯示著它作為大名庭院所擁有的豐富多變的風情。松濱軒取象於雄壯的大海與遙遠的山岳，独具匠心，作為江戸初期的大名庭園，保存狀態也非常良好，難能可貴，在平成14年它被指定為國家名勝。



案内図

熊本県

が りょう ばい 臥龍梅 Garyobai (plum tree)

松井神社の敷地内に細川忠興のお手植えといわれる「臥龍梅」があります。毎年、2月末頃に淡紅白で大輪の花を咲かせます。

下図の案内により御見学ください。本日のご来園ありがとうございます。園内の美化に御協力をお願いします。

Garyobai is a plum tree in the precincts of Matsui Shrine. It is said to have been planted in person by Tadaoki Hosokawa, the first feudal lord of Higo Kumamoto (1563-1646) Province. Every late February, it blooms large pale pink flowers. Please follow the route map on the down when you look around.

Thank you for visiting our garden. We appreciate your cooperation in keeping the garden clean.

와룡매(臥龍梅)

“마쥬이” 신사의 부지내에 “호소카와 다다오키”가 직접 심었다고 전해지는 「와룡매(臥龍梅)」가 있습니다.

매년 2 월말 경에 담홍백색의 큰 꽃을 피웁니다. 오른쪽 그림의 안내에 따라서 견학해 주십시오.

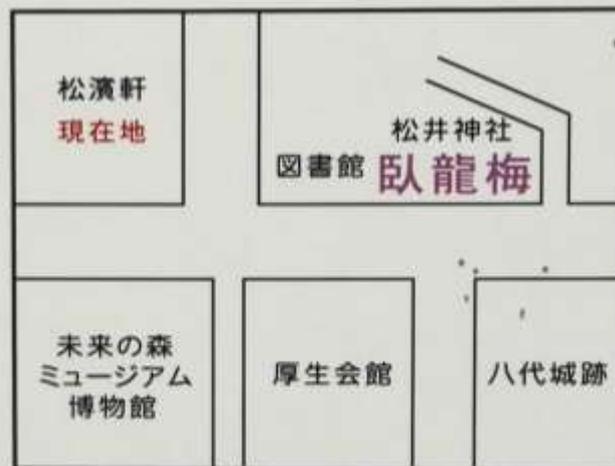
오늘 내원해 주심을 감사드립니다. 원내의 미화에 협력해 주십시오.

臥龍梅

松井神社内有一棵據說是細川忠興親手種植的“臥龍梅”。
每年的2月底左右開花・花朵碩大・顏色白中透粉。
請按照右圖指南參觀・謝謝您光臨本園・敬請合作美化園內。

卧龍梅

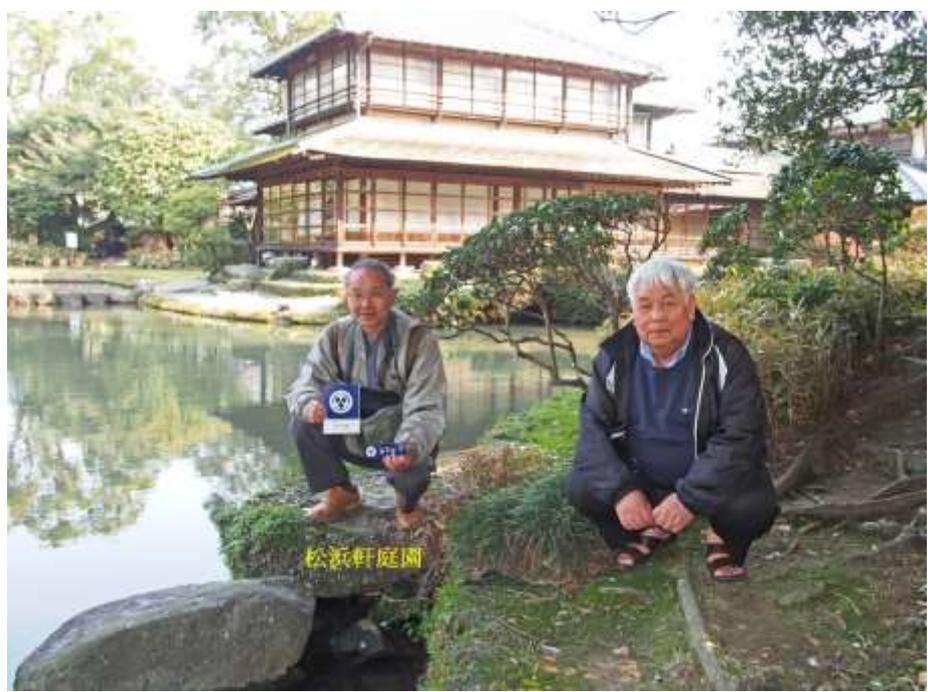
松井神社内有一棵据说是細川忠興亲手种植的“卧龍梅”。
每年的2月末开花，花朵碩大，顏色白中透粉。
請按照右圖图示參觀。感谢您光臨本園。请您協力美化園內。



臥龍梅案内図

熊本県





松浜軒の後は、球磨川河口に海鳥観察に行きました。
生憎逆光だったので、良い画像が撮れなくて残念でした。



セグロカモメ(背黒鷗)
カモメ科 L=60cm
2013/02/11八代市球磨川河口



トビ(鳶)
ワシタカ科 L=60cm
2013/02/11八代市球磨川河口



ヒドリガモ(緋鳥鴨)
ガンカモ科 L=48.5cm
八代市球磨川河口



セグロカモメ(背黒鷗)

カモメ科 L=60cm

2013/02/11八代市球磨川河口



ツタシガモ(筑紫鴨)
ガンカモ科 L=62. 5cm 20
13/02/11八代市球磨川河口